

# FORD1とは



## 沖縄県リゾートダイビング事業連合会 Federation of Okinawa Resort Diving Industry

● <http://www.oki-ford1.com>

FORD1とは、沖縄県リゾートダイビング事業連合会の英文名＝  
Federation of Okinawa Resort Diving Industryの頭文字です。

産・学・官・医・地域の連携を基盤に、ダイビングの安全対策や事故防止対策並びに持続可能なダイビング産業の発展に必要な検討事項等、業界ぐるみの取り組みを組織するための推進母体として、ダイビング商品、サービス、メニュー等を有し、なおかつ、本事業の主旨に賛同する県内の事業者・ガイドダイバー・団体・法人並びに地方公共団体等が集積し構成された、民間主導による、自立・自走型の全県的・横断的ネットワークです。

### 行動理念

- 私たちは、法令やルールの順守を全てにわたって徹底します。
- 私たちは、お客様や地域社会からの信頼の獲得に努めます。
- 私たちは、全ての事業活動を通して、安全の確保を最優先します。
- 私たちは、全ての事業活動を通して、地域社会の発展に寄与します。
- 私たちは、全ての事業活動を通して、環境保全に取り組めます。
- 私たちは、全ての事業活動を通して、国際社会との連携を目指します。

### 行動規範

- 法令やルールの順守を全てにわたって徹底します。
- 社会からの信頼を獲得するために自身のランクを示すCカードの提示を徹底します。
- 提供商品・サービスの項目、及び内容について事前に説明します。
- 公序良俗をもって誠実かつ公正な事業活動を遂行します。
- 従業員の尊重と風通しの良い店づくりを目指します。
- お客様や地域社会とのコミュニケーションを大切にします。
- 社会への迅速かつ的確な、情報公開と説明責任を遂行します。
- 環境保全及び地域社会の発展に貢献します。

### 目的

- 組織が一体となって、ダイビングの安全対策や事故防止に努めます。  
これまで、県内には横断的組織がありませんでした。  
私達は協力し合い、お客様の安全や事故防止に全力を注ぐ組織です。
- お客様のために、事業者やガイドダイバー、従業員及びガイドダイバーのみならず、ダイビングの提供に関わる全ての者が、お客様のために安全意識を高めます。
- 沖縄で安全に思いっきりダイビングを楽しみたいという、沖縄でダイビングをするすべてのお客様に満足いただけるよう、私達が全力でお応えします。

## 初めてのダイビング

## Q&amp;A

## Q サメに襲われたら怖いなあ。

世界で約400種生息するサメは、沖縄にも100種ほどいます。そのうちホホジロザメ、イタチザメ、オオメジロザメ、シュモクザメが沿岸性で危険とされています。しかし、沖縄県内でファンダイビング中のダイバーが咬傷された報告はありません。

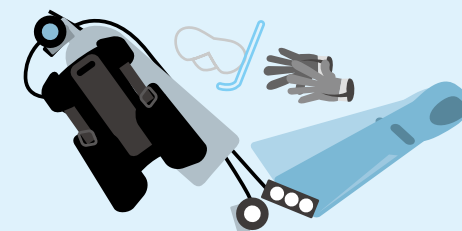
## Q 1人で始める人っているの？

仲良しの友人や家族と参加できれば心強いですが、お1人の参加でも3～4日ある講習やツアーに参加する中で、気の合う仲間が増えていきます。1人で始める人は、決して少なくありません。

## Q とにかく、お金がかかるイメージ

Cカード取得の講習は5万円前後です。あまりにも高額な場合や、逆にあまりにも安い場合は、その理由を確認しましょう。器材を全てそのスクールで購入する人は、講習が2万円といった価格設定かもしれません。費用の詳細を聞いてみましょう。

自分で責任を持って器材管理をするためには、器材はそろえた方がいいのですが、すべての器材を購入すると総額15～25万円程度になります。無理をして1度にすべてを購入せず、少しずつ揃えてもいいでしょう。



## Q Cカードって何ですか？

指導団体が、講習を受講してダイビングの知識と技術を習得した人に、その証明として発行する認定証です。取得したCカードで、世界中の海を潜ることができます。

## Q 興味はあるけど、体力に自信がないなあ。泳げないし……。

もちろん、体力も泳力もあった方がよいのですが、重い器材も水中では負担になりませんし、レギュレーターで呼吸もできますし、フィンで推進力も得られますので、あまり気にしないで大丈夫です。ただ、安全のためにはトレーニングを積んで、体力・泳力を身につけることが大切です。

## Q 視力が弱い、ぼっちゃり体型だけど……。

視力対策は、度付きのレンズが市販されていますし、流失しても構わないよう使い捨てコンタクトを利用するダイバーもいます。体脂肪は、いわゆる潜水病の予防のために少ないほうがいいですが、直接的な問題ははありません。

## Q 1回で何分くらい潜れるの？

1回のダイビング（タンク1本）で、潜水時間は30～60分程度。深度は数mから30mと、ダイバーの技術や潜るポイントによって、時間も深度も大きく変わります。経験値が上がると、ダイビングの幅も広がります。

## Section #03-12

column

安全のために  
ルール遵守

ガイドは、お客様自身のリンクを示すCカードや直近のダイビングやレベル等を確認して、潜水計画をたてます。また、ディーブ・ナイトを行う場合には、未経験の方は追加の講習及び認定が必要となる場合があります。反復潜水後は少なくとも18～24時間以上の飛行機搭乗待機時間が必要とされています。

## お客様の権利と責任

- お客様は、いかなる段階においても最善のダイビングサービスを平等に受けられます。
- お客様は、潜水計画等について理解できるまで説明を受け、自分自身の意志で参加するかどうかを選択することができます。
- お客様は、商品やサービスに関する情報の開示を求めることができます。
- お客様は、個人情報やプライバシーが守られます。
- お客様は、自らの健康に関する情報を正しく知らせることが大切です。
- お客様は、自らの体調に不安を感じた場合はいかなる段階においても取り止める勇気が大切です。
- お客様は、他のお客様の権利も尊重し、ダイビング等に支障を与えないように配慮しなければなりません。
- お客様は、自らの責任として水中での時間管理、残圧管理、深度管理をしなければなりません。

## ダイビング事業者の責務

- (1) 法令の順守  
法令やルールの順守を、全ての事業活動にわたり徹底する。また、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的な勢力とは断固として決別する。
- (2) 誠実かつ公正な事業活動  
公序良俗をもって誠実かつ公正な事業活動を遂行する。また、漁業関係者や関連する団体との健全かつ正常な関係を保つ。
- (3) 地域社会とのコミュニケーションづくり  
全ての事業活動を通して、積極的かつ公正な情報開示や広報活動を行い、広く地域社会やお客様とのコミュニケーションを図る。
- (4) 従業員の労働環境の整備  
事業者は従業員の安全衛生について責任ある立場を自覚し、定期的に健康診断を受けさせる、過密なスケジュールにならないように配慮する等、安全で働きやすい環境を確保し、健康で豊かな生活の質的向上を目指す。
- (5) 潜水計画策定の徹底と管理  
インストラクター、ガイドダイバー及びスタッフには、用意周到な潜水計画の策定が事故防止に繋がる事を周知徹底させるとともに、安全に配慮した潜水計画の策定及び報告を習慣づける。
- (6) 情報開示と説明責任  
個人情報保護法に則り、取り扱いについては最善の注意を払い、必要時・緊急時にはすぐ対応できるようにする。また、お客様その他の公的機関から要請があれば、ダイビング事業者としての自覚を持ち、速やかに情報開示と説明責任を果たす。
- (7) 施設賠償責任保険等の加入  
不測の事態に備えて、必要な施設賠償責任保険や各種の保険に加入する。賠償責任保険は、裁判等により過失割合が決定されない限り支払われない。日常業務中の怪我や事故・盗難等に関する各種保険は、お客様の負担による加入の原則をお客様及びスタッフに周知する。
- (8) 自然環境の保全活動  
珊瑚や魚類等の海洋生物は、ダイビングの魅力の根源である事を認識し、ダイビングによる負荷の軽減だけではなく、積極的に自然環境の保全活動に取り組み。
- (9) 環境保全活動  
地球環境問題・海洋資源の保全等幅広い視野を持ち、事業活動全般に関して環境保全に取り組む。
- (10) 地域貢献  
地域社会との連携・協力が事業活動の基盤である事を認識し、地域社会の発展に貢献する。

# 沖縄のおもな有毒生物



**☞ ミノカサゴ** >> 背ビレと腹ビレに毒のトゲを持つ。逃げないからといって、近づきすぎると攻撃されることも。トゲを抜き、患部をお湯につける。



**☞ イイジマフクロウニ** >> 直径10cmを超える大型のウニ。トゲに刺されると、激痛が走りしびれる。よくゼブラガニが共生しているが、観察の際には注意を。



**☞ ラッパウニ** >> 岩の上に付着し、カモフラージュのためか貝殻などを乗せている。表面に毒を持つラッパ状のトゲがあり、重篤な状態に陥る場合も。



**☞ オニヒトデ** >> サンゴの大敵だが、ヒトにとっても有害。トゲ状の腕に刺されると激痛が走る。駆除には知識が必要で、むやみに触ってはいけません。



**☞ イラモ** >> 岩の上に海藻やイソギンチャクのような群体をつくるが、じつはクラゲの仲間。真水で洗うと、浸透圧でさらに悪化することがある。



**☞ ハブクラゲ** >> 血圧低下や意識障害を起こすことがあるので、すぐに病院へ。応急手当には酢が有効。「ハブクラゲには酢」と覚えておこう。



**☞ ハナブサイソギンチャク** >> 砂地に住むイソギンチャクだが、高さ30cmにもなり一見すると海藻のよう。刺激すると砂に潜ってしまうが、決して触れないように。



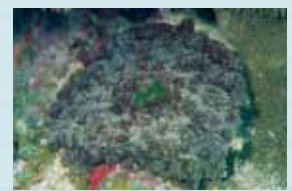
**☞ アナサンゴモドキ** >> 触るとヤケドに似た症状が出るため「ファイヤーコーラル」の異名を持つ。繁殖期の6月ごろには近づいただけでかぶれることも。



**☞ オニダルマオコゼ** >> 背ビレに毒がある。岩そっくりに化けていて、知らずに触ってしまったら浅瀬で踏みつけて刺される場合も。過去には死亡例もある。



**☞ ガンガゼ** >> 長く黒いトゲに毒があり、刺さるともろく折れ、ノコギリ歯のようになっていて抜けない。強い痛みが起これ、大きく腫れる。



**☞ ウンバチイソギンチャク** >> 表面に猛毒を持ち症状が重いことから「ウンバチ(海の蜂)」の名が付いた。藻や岩のように見えるため注意が必要。至急、病院へ。



**☞ ガヤ** >> 羽のような形で動きも少なく植物のように見えるが、じつはクラゲの仲間。知らずに触れて、痛みやかゆみが出ることも多い。

## Section #03-14

# 沖縄で気をつけたい 水中の危険生物

### 事故を防ぐには

美しいサンゴや魚たちが出迎えてくれる沖縄の海。けれども、そこには危険な生物がいることもお忘れなく。沖縄では海中生物による被害報告が年間200～400件もあり、中には生命の危機に及ぶ例もあります。普段見かけない生物も多いため、つい近づきすぎたり、擬態に気づかなかつたり。ちなみに、美しいサンゴも弱いながらほとんどが毒を持っています。ちょっと触れただけなのにブツブツ赤く痛痒くなった経験を持つダイバーもいるのではないのでしょうか。

海の生物はこちらから手出しをしない限り、向こうから危害を加えてくる

ことはほとんどありません。むやみに触ったりしないようにしましょう。また、皮膚の露出を避けブーツやグローブを着用する、半袖・半ズボンのスーツで潜る際には中性浮力を取って海底や岩に触れないことも大切です。

万一、何かに刺されたときは、触らずに振るなどして患部を海水で洗い流しましょう。また、魚類やウニなどの毒は早くお湯に浸けるほど悪化しません。もし刺された生物の名前がわからないときは、デジカメで撮っておくと役立ちます。いずれにせよ、担当ガイドに申し出て、速やかに医師の診察を受けましょう。



### おもな応急手当

- **海水** = とくにクラゲやイソギンチャクに刺された時は、すぐに手で海水を仰ぐなどして洗い流す。
- **酢** = 酢をかけて触手が白く濁ったら静かにはがす。すすぐ必要があれば真水ではなく海水を使う。おもに酢が有効なのはハブクラゲ。
- **取り除く** = ペンセット・箸・粘着テープ等で丁寧に取り除く。タオルや砂ではこすらないほうがよい。
- **お湯** = 42～45℃のお湯に30～90分浸ける。お湯がないときは直射日光に当たったタンクや石で代用することもある。
- **冷やす** = 炎症を和らげるために氷水の袋をタオルに包んで当てる。15分間冷して5分間離す。凍瘡(とうそう)に注意。

### ● 有毒生物別 応急手当 左から●のついている順番に行う

生物		触らない	海水	水道水	酢	取り除く	お湯	冷す	すぐに病院(死亡例あり)
魚類	オニオコゼ						●	●	
	オニダルマオコゼ、ヒメオニオコゼ						●	●	●
	ミノカサゴ						●	●	
	エイ						●	●	
ウニ、ヒトデなど	ゴンズイ						●	●	
	ガンガゼ、イイジマフクロウニ、ラッパウニ					●	●	●	
	オニヒトデ					●	●	●	
クラゲ、イソギンチャクなど	クラゲ	●	●	×				●	
	イモラ	●	●	×				●	
	ハブクラゲ	●	●	×	●			●	●
	アンドンクラゲ	●	●	×	●			●	
	イソギンチャク	●	●	●				●	
	ウンバチイソギンチャク	●	●	×	×			●	●
	ハナブサイソギンチャク	●	●	×				●	
	サンゴ	●	●	●				●	
	ガヤ	●	●	●				●	
	カツオノエボシ	●	●	×				●	
アナサンゴモドキ	●	●		●			●		
ゴカイ	●	●				●			
ウミケムシ	●	●							

(出典：月刊ダイバー 2011年8月号 山見信夫)

※アメリカ心臓協会が発表した2010年のガイドラインではクラゲの応急手当は、酢で30秒以上洗った後、お湯に浸すとしている。





 **沖縄県**  
OKINAWA PREFECTURE  
沖縄県美ら海構築促進事業